

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	東松原保育園
活動日時	令和7年6月25日(水)
クラス名(年齢)	あひる組(1歳児)

1. 活動テーマ

<テーマ>

音を鳴らすことを楽しみながら違いに気づく

<テーマの設定理由>

保育園でまだ楽器に触れて遊ぶ経験がなかったので、興味のある楽器に触れることを経験しながら、音を鳴らし、また様々な楽器にも触れて音の違いを楽しんでみたい。

2. 活動スケジュール

12名をふたつのグループに分け落ち着いた環境の中で十分に好きな楽器に触れられるように楽器の数も多く用意しておく。CDを流し楽しい雰囲気を作り音楽に合わせて鳴らしてみる。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

動物のタンバリン、スズ、カスタネット、手作りマラカス、CD*保育室に入ってきたときにカゴにたくさんの楽器を入れてある箱を用意し、それに興味を持って触れることを楽しめるようにする。

4. 探究活動の実践

<活動内容>

普段遊びで使ったことのない楽器を用意し、興味を持って触れてみる。楽器を持つことで音が鳴り、振ったり、叩いたりすることでまた違う音が出ることに気づく。
保育室に流れている「おもちゃのチャチャチャ」の音楽を聴きながら、保育士と鳴らしてみる。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

① 箱の中には何が入っているのか興味津々の子ども達。早速触ってみました。



② ここを叩くと音がするね〜♪



③ これはなに？

④ どうやって遊ぶのかな？



⑤ 「おもちゃのチャチャチャ」に合わせて皆で楽器を鳴らしてみました。

楽しいね♪



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

持ち方への指導はしなかったが、子ども達が自然に持ち鳴らすことを楽しむことができた。特にスズは両手に持って鳴らすことで音も大きく楽しさも倍増した様子に喜んでいた子ども達だった。月齢の高い子はCDの歌に合わせて「チャチャチャ…」と声を出しながら楽しむことや音楽に合わせて楽器を持ち歩くことも楽しめていた。楽器の音を声に出している子もいたので、その音についての遊びを発展させていこうと思った。